

【大分県納税貯蓄組合連合会会長賞】

税について

豊後大野市立犬飼中学校

三年 田下 礼音

僕が中学生になる前。そう小学生の時にコンビニに行って本を買おうとしていました。五百円の雑誌だったので、五百円玉をもってレジに向かいました。その時店の人から「きみ、少し足りないから買えないよ。ごめんね。」と言われ、なぜ買えなかったのか謎のまま家に帰りました。そのことを親に聞いてみると親は「物を買うときは消費税というお金がかかるんだよ。」と言われ、初めて“税”というものと出会いました。そのころはもちろん「こんな税なんかなくなればいい。」と、正直思っていました。ですが、中学生になってから税のことについて学ぶ期会が増え、その考えがガラツと変わりました。例えば、税金がなくなったら僕たち学生が自由に学べなくなってしまうこと。火事がおきたら多くのお金を支払わなければいけなくなること。そんな日本になるのはいやです。ですが、税としてお金を失うのは…。とあってしまう自分がいます。今、日本は税だらけです。働いても税が出る。物を買っても税が出る。土地を持っても税が出る。そんなくらしみんないやだと思います。ですが現在新型コロナウイルスがはやっていきます。配られた10万円だとか、配られた布マスクとか。ワクチンが無料でうけることができる。総理大臣ふとつぱら！とか思っていたけど、どれもこれも税金のおかげと考えると、税をやすくしろ！とか、税をなくせ！だとか言えなくなってしまうます。今後の日本は、ますます税金が高くなっていくのでしょうか。新たにみたこともない税金が、いくつもいくつも出てくるのでしょうか。僕は中学生で、まだ社会に出たことのない子どもです。だけど今後、社会をつくっていくのは、僕たちだから今後の日本についてすごく気になります。僕たちがおじいさんおばあさんになる時に年金がなくなってしまうなどのうわさや、僕たちが20〜30代働いてかせいだお金が半分くらい税金としてとられるなどのうわさをきいたりしています。年金がなくなるのはいやだけど税も高くなるのも…。となやみます。どうすればいいのか僕はかんがえました。その答えは18才になると選挙権が僕にもらえます。その時に税金の値段や年金の値段などをしっかりと考えてくれる人に投票したいと思います。

最後に僕たち日本人には税金はつきものです。こんご高くなったり低くなったりするかもしれませんが。ですがうまくつき合っていく方法を見つけていくのが日本の課題だと思います。